# 平成20年度 日本留学試験(第1回)

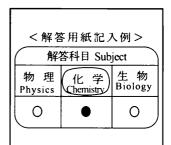
## 試験問題

### 化学

「解答科目」記入方法

解答科目には「物理」、「化学」、「生物」がありますので、この中から2科目を選んで解答してください。選んだ2科目のうち、1科目を解答用紙の表面に解答し、もう1科目を裏面に解答してください。

「化学」を解答する場合は、右のように、解答用紙の左上にある「解答科目」の「化学」を〇で囲み、その下のマーク欄をマークしてください。科目が正しくマークされていないと、採点されません。



計算には次の数値を用いること。また、体積の単位リットル(liter)は L で表す。

気体定数 (gas constant) :  $R = 8.31 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L/(K} \cdot \text{mol)} = 8.31 \text{ J/(K} \cdot \text{mol)}$ 

=  $0.082 \text{ atm} \cdot \text{L/(K} \cdot \text{mol)}$ 

アボガドロ定数 (Avogadro constant):  $N_A = 6.0 \times 10^{23}$  /mol

標準状態 (standard state):  $0^{\circ}$ C,  $1.0 \times 10^{5}$  Pa = 1.0 atm

原子量 (atomic weight): H:1.0 He:4.0 C:12 O:16 S:32 Cl:36

Fe: 56 Cu: 64 Zn: 65 Ba: 137

問 1 次の①~⑤の分子のうち、窒素 N<sub>2</sub> と同じ総電子数 (total number of electrons) をもつ分子を一つ選びなさい。

- ① 一酸化炭素 CO ② 塩化水素 HCl ③ 酸素 O<sub>2</sub>
- ④ メタン CH<sub>4</sub>⑤ 硫化水素 H<sub>2</sub>S

問 2 次の記述(a) $\sim$ (c)に当てはまる元素 F, Na, Ne の組み合わせとして最も適当なものを、下の $\mathbb{I}$  $\mathbb{I}$  $\mathbb{I}$ 0 の中から一つ選びなさい。

- (a) 原子半径が最も大きい
- (b) 第1イオン化エネルギー (first ionization energy) が最も大きい
- (c) 価電子 (valence electron) の数が最も大きい

	а	b	С
①	F	Na	Ne
2	F	Ne	Na
3	Na	F	Ne
4	Na	Ne	F
5	Ne	F	Na
6	Ne	Na	F

問3 有機化合物の分子構造についての次の記述①~④のうち、正しいものを一つ選びなさい。

3

- ① エタン(ethane)を構成する原子は、すべて1つの平面上に並んでいる。
- ② ベンゼン (benzene) の炭素原子間の結合には、長さの異なるものがある。
- ③ 炭素原子間の結合の長さは、エタン、エチレン (ethylene)、アセチレン (acetylene)の順に短くなる。
- ④ H-C-H の結合角 ( $\angle HCH$ ) は、メタン (methane) よりエチレンのほうが小さい。
- 問 4 鉄 Fe 28 g と 3.0 mol/L 塩酸 HCl 0.50 L を反応させたとき,発生する水素  $H_2$  の標準状態での体積として最も適当な値を,次の $\mathbb{O}$ ~ $\mathbb{G}$ の中から一つ選びなさい。

**4** L

① 5.6 ② 11.2 ③ 22.4 ④ 33.6 ⑤ 44.8 ⑥ 67.2

問 5	大きる	ž 8 i	m×7 m	$\times$ 4 m	の室内に	こある3	芒気の,	標準状態	での質	量とし	て最	も近	Ē۷١
	值(kg)	を,	次の①	~⑤の	中から一	つ選び	なさい。	ただし,	空気の	平均分	·子量	は 29	ع و
	する。											5	kg

問6 22.4 L の容器に、0  $\mathbb{C}$  でヘリウム He 1.60 g と酸素  $O_2$  x g が入っているときの 圧力が  $1.0 \times 10^5$  Pa であった。x に最も近い値を、次の①~⑤の中から一つ選びなさい。

**6** g

① 9.6 ② 12.8 ③ 19.2 ④ 25.6 ⑤ 38.4

問7 次の水溶液(a) $\sim$ (d)について、pHの値の大きい順に並べたものとして正しいものを、下の① $\sim$ ⑥の中から-つ選びなさい。

- (a) 0.1 mol/L 塩化ナトリウム水溶液 NaCl aq
- (b) 0.1 mol/L 酢酸水溶液 CH<sub>3</sub>COOH aq
- (c) 0.1 mol/L 酢酸ナトリウム水溶液 CH<sub>3</sub>COONa aq
- (d) 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム水溶液 NaOH aq
- ① c > a > b > d ② c > b > d > a ③ c > d > a > b
- (4) d > a > b > c (5) d > a > c > b (6) d > c > a > b

問8 次の反応 $\mathbb{O}$   $\sim$   $\mathbb{S}$  のうちで,下線をつけた原子の酸化数(oxidation number)が 最も大きく変化しているものを一つ選びなさい。

① 
$$2H_2S + O_2 \longrightarrow 2S + 2H_2O$$

$$2H_2S + SO_2 \longrightarrow 2H_2O + 3S$$

問9 次の反応(a), (b)のそれぞれにおいて、酸化剤 (oxidizing agent) としてはたらく 物質の組み合わせとして最も適当なものを、下の① $\sim$ ⑥の中から一つ選びなさい。

9

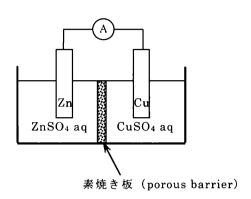
(a) 
$$SO_2 + 2H_2O + I_2 \longrightarrow 2HI + H_2SO_4$$

(b) 
$$2Na + 2H_2O \longrightarrow 2NaOH + H_2$$

	а	b
1	$\mathrm{SO}_2$	Na
2	$\mathrm{SO}_2$	H <sub>2</sub> O
3	H <sub>2</sub> O	Na
4	H <sub>2</sub> O	H <sub>2</sub> O
5	$I_2$	Na
6	$I_2$	H <sub>2</sub> O

問10 次の図に示すダニエル電池 (Daniell cell) において,電極 (electrode) としての 亜鉛板 (zinc plate) と銅板 (copper plate) を接続し,電流を流した。電流を流す 前後の両極の質量変化の記述として正しいものを,下の①~⑥の中から一つ選びなさい。

10



- ① 亜鉛板の質量の減少量は、銅板の質量の増加量よりも大きい。
- ② 亜鉛板の質量の減少量は、銅板の質量の増加量と等しい。
- ③ 亜鉛板の質量の減少量は、銅板の質量の増加量よりも小さい。
- ④ 亜鉛板の質量と銅板の質量は、ともに変化しない。
- ⑤ 亜鉛板の質量と銅板の質量は、ともに減少する。
- ⑥ 亜鉛板の質量と銅板の質量は、ともに増加する。

問 11 化合物 NaHCO3, Na<sub>2</sub>CO<sub>3</sub>, FeS のうち, 次の記述(a), (b)に当てはまるものの組 み合わせとして最も適当なものを,下の① $\sim$ ⑥の中から一つ選びなさい。

- (a) 希塩酸 dil. HCl を加えると、臭気のある気体を発生する。
- (b) 加熱すると容易に分解して、無臭の気体を発生する。

	а	b
1)	NaHCO3	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>
2	NaHCO3	FeS
3	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>	NaHCO3
4	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>	FeS
(5)	FeS	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>
6	FeS	NaHCO3

問 12 次の記述(a) $\sim$ (c)に当てはまる金属 Ca, Na, Zn の組み合わせとして最も適当なものを、下の① $\sim$ ⑥の中から一つ選びなさい。

- (a) 酸および強塩基(strong base)のいずれの水溶液にも溶けて、水素 H2 を発生する。
- (b) 硫酸塩(sulfate)は水に溶けにくいが,塩化物(chloride)は水に溶けやすい。
- (c) 炎色反応 (flame test) は黄色である。

	а	b	С
1)	Ca	Zn	Na
2	Ca	Na	Zn
3	Na	Zn	Ca
4	Na	Ca	Zn
⑤	Zn	Na	Ca
6	Zn	Ca	Na

問 13 鉄	Fe とその化合物に関する記述(a)~(d)について,正しいものの組み合わせを
下の	①~⑥の中から一つ選びなさい。
( )	Mula Man Musta IIIIO ナー to ニット ア毛(松) / ・・・・・・ ナーボ(中・フ
(a)	鉄に、濃硝酸 conc. HNO3 を加えると、不動態 (passive state) を形成する。
( <b>b</b> )	硫酸鉄(Ⅱ) FeSO4 の水溶液に、チオシアン酸カリウム水溶液 KSCN aq を
	加えると,血赤色に変化する。
(c)	塩化鉄(Ⅲ) FeCl <sub>3</sub> の水溶液に、ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウム水溶液 K <sub>3</sub> [Fe(CN) <sub>6</sub> ] aq
	を加えると,濃青色の沈殿(precipitate)を生じる。
( <b>d</b> )	硫酸鉄(II)の水溶液に、硫化水素 H2S を通じると、硫化鉄(II) FeS の黒色
	沈殿を生じる。
①	a, b ② a, c ③ a, d ④ b, c ⑤ b, d ⑥ c, d
問 14 塩	[化バリウム水和物 BaCl <sub>2・n</sub> H <sub>2</sub> O の結晶 10gを加熱して, 塩化バリウム BaCl <sub>2</sub> 8.52gを
得た	。係数 n に最も近い値を次の①~⑤の中から一つ選びなさい。
•••	
(1)	1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5
Û	
55 45 N	
	温常圧(normal temperature and pressure)で最も水に溶けにくい気体を、
次の	①~⑤の中から一つ選びなさい。
①	二酸化炭素 CO <sub>2</sub> ② 塩素 Cl <sub>2</sub> ③ 水素 H <sub>2</sub>
4	アンモニア NH <sub>3</sub> ⑤ 二酸化硫黄 SO <sub>2</sub>

問 16 炭素 C, 水素 H, 酸素 O からできている化合物 21.5 mg を完全に燃焼 (combustion) させると、二酸化炭素 CO<sub>2</sub> が 55.0 mg, 水が 22.5 mg 生じた。この化合物の組成式 (empirical formula)として、最も適当なものを次の①~⑤の中から一つ選びなさい。

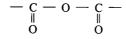
16

- ① C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O
- ② C<sub>4</sub>H<sub>8</sub>O
- 3 C<sub>4</sub>H<sub>10</sub>O
- 4 C<sub>5</sub>H<sub>10</sub>O
- ⑤ C<sub>5</sub>H<sub>12</sub>O

問 17 分子式  $C_8H_{10}$  で示される芳香族化合物(aromatic compound)の異性体(isomer) の数として最も適当なものを,次の①~⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 2
- ② 3
- 3 4
- 4 5
- ⑤ 6

問 18 次の部分構造をもつ化合物として最も適当なものを、下の①~⑥の中から一つ選びなさい。



- ① アセチルサリチル酸 (acetylsalicylic acid) ② アセトン (acetone)
- ③ ジエチルエーテル (diethyl ether)
- ④ 酢酸エチル(ethyl acetate)
- ⑤ 無水マレイン酸 (maleic anhydride)
- ⑥ 酢酸 (acetic acid)

問 19 フェノール (phenol) と安息香酸 (benzoic acid) に対して、次の表に示される 実験を行ったときの結果として、最も適当なものを次の①~④の中から一つ選びなさい。

19

	. F. WA	結果		
	実験	フェノール	安息香酸	
1	炭酸水素ナトリウム水溶液 NaHCO3 aq を加える	二酸化炭素 CO2を 発生しない	二酸化炭素を発生する	
2	臭素水 Br2 aq をじゅうぶんに加える	白色沈殿を生じない	白色沈殿を生じる	
3	アンモニア性硝酸銀水溶液を加える	銀鏡を生じる	銀鏡を生じない	
4	水酸化ナトリウム水溶液 NaOH aq を加える	溶解しない	溶解する	

注)アンモニア性硝酸銀水溶液(Tollens' reagent),銀鏡(silver mirror),沈殿(precipitate)

問 20 次に示すエチレン (ethylene) からポリ塩化ビニル (poly (vinyl chloride)) を 合成する反応において、反応 A、B の名称の組み合わせとして、最も適当なものを下 の $\mathbb{T}$ ~ $\mathbb{G}$ の中から一つ選びなさい。

$$H_2C=CH_2+Cl_2$$
 →  $CH_2Cl-CH_2Cl$   $\xrightarrow{\text{$\frac{1}{2}$}}$   $H_2C=CHCl$  →  $H_$ 

	Α	В
1	置換反応	縮合重合
2	置換反応	付加重合
3	付加反応	縮合重合
4	付加反応	付加重合
5	還元反応	縮合重合
6	還元反応	付加重合

注) 熱分解反応(pyrolysis), 置換反応(substitution reaction), 縮合重合(condensation polymerization), 付加反応(addition reaction), 付加重合(addition polymerization), 還元反応(reduction reaction)